

令和2年度

学生によるオレンジリボン運動

鯖江高等学校 JRC 部 実施報告書



実施主体 福井県立鯖江高校 JRC 部

実施内容 校内で啓発活動、タウン情報誌「嶺北フリモ」11月号で広報

①事前に取り組んだ内容

・本校では保育、幼児教育の分野に興味があり、こどもと関わる進路を選ぶ生徒が一定数いる。選択科目に「こどもの発達と保育」という講座ももうけている。仁愛大学こども学科の講師に出前授業もしていただき、こどもに関わる問題について学んでいる。

・今年度は校外活動が難しいため、学校内での啓発運動を企画した。

・タウン情報誌「嶺北フリモ」が「オレンジリボン運動」企画で本校に取材に来られたので、他のボランティア活動とともに紹介していただいた。

9月：「嶺北フリモ」取材。昨年 JR 鯖江駅前でオレンジリボン運動を経験した2, 3年生部員4名がインタビューを受けた。

10月：1, 2年生部員が校内用に啓発メッセージチラシを作った。校舎内各階の掲示板にポスターを掲示した。アサガオの種チャリティーも同時開催し、募金を呼びかけた。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

①全国一斉運動期間に合わせ、全校16クラスにオレンジリボン運動について呼びかけ、チラシと啓発用マスクを配布した。部員が職員室に行き職員一人一人に手渡した。JRC 部員が在籍しているクラスは部員がホームルームで「(啓発用マスクを) 持ち帰り、家庭で話題にしてください」と呼びかけた。部員がいないクラスについては担任の先生に代読してもらった。

②タウン情報誌「嶺北フリモ」11月号で、オレンジリボン運動のポスターを持った JRC 部員の集合写真を表紙に巻頭特集していただいた。同情報誌を各クラスに1冊回覧用に配付し、こども虐待について知ってもらった。チャリティーも実施、現在継続中である。

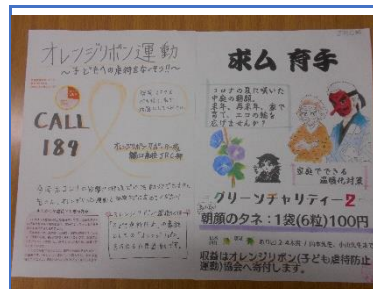
③オレンジリボン運動を終えて・・・

コロナ禍であったため、啓発マスクの配付が例年以上に喜ばれた。

家族で子ども虐待防止について話題にする機会を提供できた。

これから社会へ出る高校生にとって、子どもとの関わりを考えるよい機会となった。

情報誌を通じて地域の人々にこども虐待やオレンジリボン運動、本校 JRC 部の奉仕活動を知ってもらうことができ、意義のある活動ができた。



【福井県立鯖江高等学校】 <https://www.sabae-h.ed.jp>